



Japanese Association for  
Radiation Accident/Disaster Medicine

## 第4回

# 日本放射線事故・災害医学会

これからの放射線緊急事態対処  
～過去から学び、未来へ備える～

日時 平成28年9月10日(土) 9:30~18:25 (開場8:45)

開場 量研機構 放射線医学総合研究所 講堂

大会長 明石真言 (量研機構)

参加費 3,000円 懇親会費 3,000円 (当日受付)

### プログラム

開会 大会長挨拶

記念講演 「わが国の被ばく医療～来し方行く末～」

座長 明石 真言 (量研機構)

演者 前川 和彦 (東明会原田病院)

教育講演 「内部被ばく線量評価の考え方と実際」

座長 高田 千恵 (JAEA)

演者 栗原 治 (量研機構)

総会

シンポジウム①

「新たな被ばく医療体制における関係機関の連携」

座長 鈴木 元 (国際医療福祉大学) 山本 尚幸 (原安協)

シンポジスト 高村 昇 (長崎大学) 廣橋 伸之 (広島大学)

立崎 英夫 (量研機構) 花田 裕之 (青森県立中央病院)

百瀬 琢磨 (JAEA) 土岐 邦彰 (原安技センター)

特別講演 「日韓 FIFA W 杯での危機管理の経験と今後の課題」

座長 細井 義夫 (東北大学) 明石 真言 (量研機構)

演者 野口 和彦 (横浜国立大学)

パシンポジウム②

「放射線緊急事態での多機関連携」

座長 近藤 久禎 (災害医療センター) 谷川 攻一 (福島県立医科大学)

シンポジスト 山口 芳裕 (杏林大学) 郡山 一明 (救急救命九州研修所)

入江 ふじこ (茨城県) 河本 志朗 (日本大学)

ポスター発表

閉会 次期会長挨拶

参加のお申し込みは

<http://jaradm.org/> または

FAXにて受付中

会場アクセス



〒263-8555

千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号

JR稲毛駅(総武線快速・各駅停車)東口より  
徒歩10分。

稲毛駅東口(2番乗り場)より山王町行、千葉  
センター行、ザ・クイーンズガーデン稲毛行  
のいずれかのバス乗車、放医研正門前下車

\*駐車場をご用意しておりませんので、公共  
交通機関をご利用ください。

大会事務局 量研機構 放射線医学総合研究所 被ばく医療センター

TEL:043-206-3116 FAX:043-206-4095 Email:jaradm2016@qst.go.jp



Japanese Association for  
Radiation Accident/Disaster Medicine

# ポスター発表 一般演題募集!!

放射線事故・災害に関するポスター発表の  
演題を募集します。

## <応募方法>

日本放射線事故・災害医学会ウェブページ  
(<http://jaradm.org/>) から申込用紙をダウンロードし、大会事務局 (jaradm2016@qst.go.jp) へ送信してください。

## <応募締切>

平成28年8月10日 (水)

演題の採否については大会長にご一任ください。